

優必勝（蘇州）軸承有限公司における 太陽光発電システム導入に関するお知らせ

当社は、2030年度に2018年度の基準排出量（Scope 1，2）から50%以上のCO₂排出量削減、2050年度にカーボンニュートラルの実現を目指し取り組んでいます。その取り組みの一環といたしまして、中国の生産拠点である優必勝（蘇州）軸承有限公司にて、CO₂排出量削減に向けた太陽光発電システムの導入を行いましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 太陽光発電システム導入の概要

海外生産拠点である優必勝（蘇州）軸承有限公司の建屋屋根に、太陽光発電システムを自社資産にて設置し、2023年7月より発電を開始いたしました。今回導入した太陽光の発電容量は約470kWで、年間の発電量は約46万kWhを見込んでいます。これにより、年間のCO₂排出量削減効果は約283t-CO₂を見込んでおり、2022年度の当社グループScope 2排出量合計に対し、約1.0%の削減を想定しています。



優必勝（蘇州）軸承有限公司で導入した太陽光発電システム

2. 今後の展開

再生可能エネルギーの調達には“追加性”の視点が重要と考えており、現在、その他の地区においても太陽光発電の導入を中心に検討を進めております。今後も当社グループ全体のカーボンニュートラルに向けた取り組みを加速させるとともに、社会全体の再生可能エネルギー普及にも積極的に貢献してまいります。

以上